

陳 情 文 書 表

(子ども若者はぐくみ局)

件 名	民間保育園等職員の給与等運用事業補助金再構築の慎重な審議等		
要 旨	<p>2022年1月12日に教育福祉委員会に提案された民間保育園等職員の給与等運用事業補助金再構築後の制度の骨子は、現行の保育士の給与水準は、全体として維持・充実しうる予算額を確保するとしながらも、経験年数11年までの昇給財源しか保障しない、必要保育士数の8割しか正規職員を保障しない、給食室職員の保障は3人まで、うち一人は非正規単価での保障など、到底今までどおりの保育を保障することはできない。</p> <p>そもそも民間保育園等職員の給与等運用事業補助金は、他の自治体と比べても圧倒的に公立保育所が少ない京都市で、公立で働いても民間で働いても同じ処遇を保障しようということで作られた制度である。児童福祉法第24条第1項に基づき、自治体が責任を持つべき保育を民間に委託するうえで当然だと当時の京都市が判断したからこそその補助金制度だったはずである。</p> <p>その制度（プール制）を10年前に保育サービスで評価し、その分をポイントで加算する仕組み（ポイント制）に変えて以降、京都市が用途を把握しないまま他職種の処遇改善や施設修繕への補助金を行わなかったために起こっている事態を、まるで各園に責任転嫁し、大幅な補助金削減をしようという今回の提案を通してしまうと、今日まで保障してきた京都の質の高い保育を継続することができない。</p> <p>人件費以外の補助をどうするのか、どれだけの額が削減され、どれだけの園が影響を受けるのか、そのための経過措置はないのかなど、示された骨子だけでは分からない。せめて全容を示して説明すべきではないか。くわえて、前回プール制をポイント制に変えたときには、第三者も含めた検討委員会が持たれている。今回も有識者はもちろん、現場の声もしっかり聴いたうえで判断すべきである。</p> <p>また、4月実施予定とのことだが、現場は卒園、進級、新年度準備と通常でも一番慌ただしい時期である。これ以上の混乱を招くことのないよう、せめて審議を先送りし、京都市に公的責任を果たすよう追求し、慎重に審議することを求める。</p> <p>については、民間保育園等職員の給与等運用事業補助金再構築後の制度についての審議を先送りし、検討委員会を設けて慎重に審議することを願う。</p>		
受理年月日	令和4年1月17日	回付委員会	教育福祉委員会

受理番号	陳 情 者
2246	福祉保育労働組合保育支部 白い鳩保育園分会 分会長 荒堀麻衣子

2247	たかつかさ保育園 園長 池添 鉄平
2248	社会福祉法人大宮会 旭ヶ丘保育園 理事長 岡田 哲
2249	
2250	
2251	
2252	
2253	
2254	
2255	社会福祉法人保健福祉の会 白い鳩保育園 園長 竹内 圭
2256	
2257	

2258	たかつかさ保育園分会 分会長 西野 美幸
2259	
2260	
2261	
2262	
2263	
2264	
2265	
2266	
2267	
2268	

2269	
2270	
2271	
2272	
2273	社会福祉法人樹々福祉会 理事長 小林 啓治
2274	
2275	朱い実保育園 園長 鈴木 ユキ
2276	
2277	
2278	
2279	

2280	
2281	
2282	朱い実保育園分会 分会長 松村 順子
2283	
2284	
2285	
2286	
2287	
2288	
2289	社会福祉法人たんぽぽ福祉会 理事長 西條 昭男
2290	

2291	朱一保育園 園長 中嶋 直子
2292	
2293	
2294	
2295	
2296	
2297	
2298	福祉保育労働組合京都地本 西七条保育園分会 分会長 富田 晃弘
2299	
2300	
2301	

2302	青い空保育園 園長 京藤真由子
2303	あらぐさ保育園 園長 谷川 芳秋
2304	
2305	
2306	
2307	
2308	
2309	
2310	
2311	みつばち菜の花保育園 園長 黒田 亜紀
2312	

2313	
2314	
2315	
2316	
2317	
2318	
2319	
2320	みつばち保育園 園長 丸国 朋子
2321	
2322	
2323	

2 3 2 4	
2 3 2 5	
2 3 2 6	
2 3 2 7	
2 3 2 8	
2 3 2 9	
2 3 3 0	
2 3 3 1	
2 3 3 2	
2 3 3 3	
2 3 3 4	

2335	
2336	
2337	
2338	
2339	
2340	
2341	
2342	
2343	
2344	